



ViECO
Technologies

2024年 3月期 決算補足説明資料

ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社



2024年 5月13日

証券コード:6698



ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社は、2023年8月26日をもって
創立20周年を迎えることができました。

これもひとえに、ステークホルダーの皆様のご支援の賜物と、心より厚く御礼申し上げます。

当社は、2003年の設立から一貫して独自の外観検査技術開発に注力し、
画像処理技術の発展と世界中の製造現場へのサービス展開を目指してまいりました。

この先も、ヴィスコ・テクノロジーズは「画像一筋」で、
世界中で愛されるよりよいサービスをご提供できるよう邁進していく所存です。

引き続き変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社 代表取締役社長 足立 秀之

1. 2024年 3月期 決算概要

2. 2025年 3月期 業績予想

1. 2024年 3月期 決算概要

2. 2025年 3月期 業績予想

市場動向

1

- 電子部品市場の需要低迷、民生・産業機器市場での在庫調整の長期化が響き、世界市場は低調となった。
- 車載用電子部品市場は比較的堅調に推移した。
- FA、設備関連の需要は復調が期待されていたものの、中国経済の想定以上の減速もあり厳しい状況が続いている。
- 足元の市況は厳しさが続くものの、グローバル需要は今年に入り在庫調整一巡などにより回復の兆しが見えてきた。

事業概況

2

- 用途別では電子部品向けが前年比増加したものの、コネクタ向けなどが低調。
- 最終用途別では、産業機器向けが前年比増加。スマホや車載機器はほぼ横ばい。
- 電子部品の世界需要の低調さが影響し、売上高・営業利益ともに見通しを大きく下回った。

事業展開

3

- 着実な受注を目指し主要・新規顧客生産工場におけるプライベートショーを精力的に実施。
- 新期設立したベトナム現地法人での営業活動活発化。
- 市場拡大のための他社との販売協業体制の推進強化に注力。

研究開発／Collaboration

4

- 顧客層拡大のために、より多くのユーザーニーズに応えることが可能なツール開発に注力。
- 産学共同研究開発の推進を継続。

2024年 3月期 連結決算ハイライト

Point

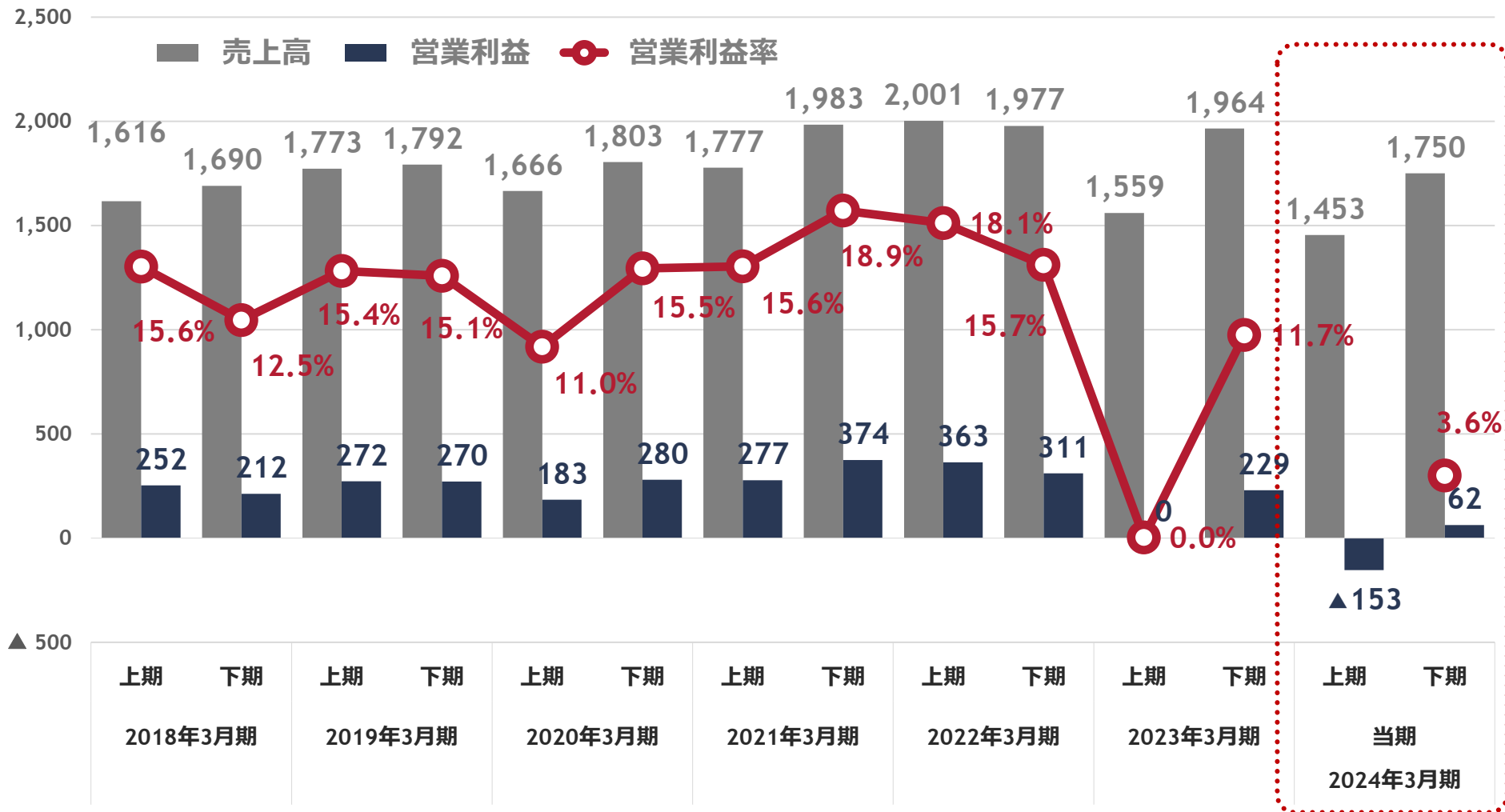
- 大幅な減収減益。
- 売上総利益は前年比減少したものの、売上総利益率はほぼ横ばい。
- 固定費は人的投資を中心に増加。
- 業績動向を踏まえ固定資産の減損損失を計上。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期	前年同期 比較	同期予想 比較
	実績	業績予想	実績		
売上高	3,524	3,200	3,203	▲320 90.9%	+3 100.1%
営業利益	229	▲90	▲91	▲320 -%	▲1 -%
経常利益	244	▲5	▲4	▲249 -%	+0 -%
親会社株主に帰属する純利益	102	▲170	▲168	▲270 -%	+1 -%
1株当たり純利益 (単位：円)	16.57	▲28.28	▲28.05	▲44.62 -	+0.23 -

連結売上高・損益推移

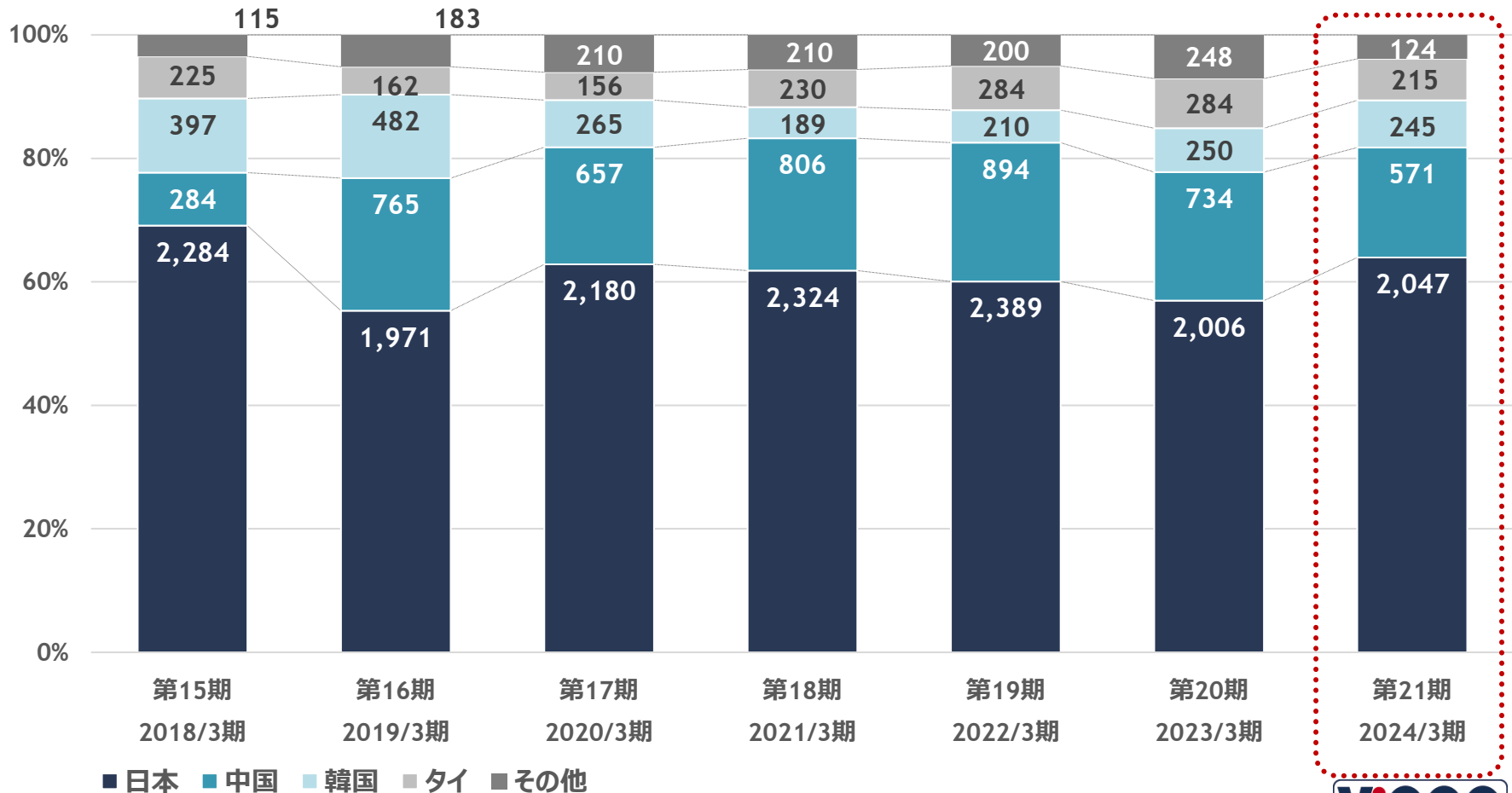
(単位：百万円)



得意先地域別売上高推移(連結)

Point

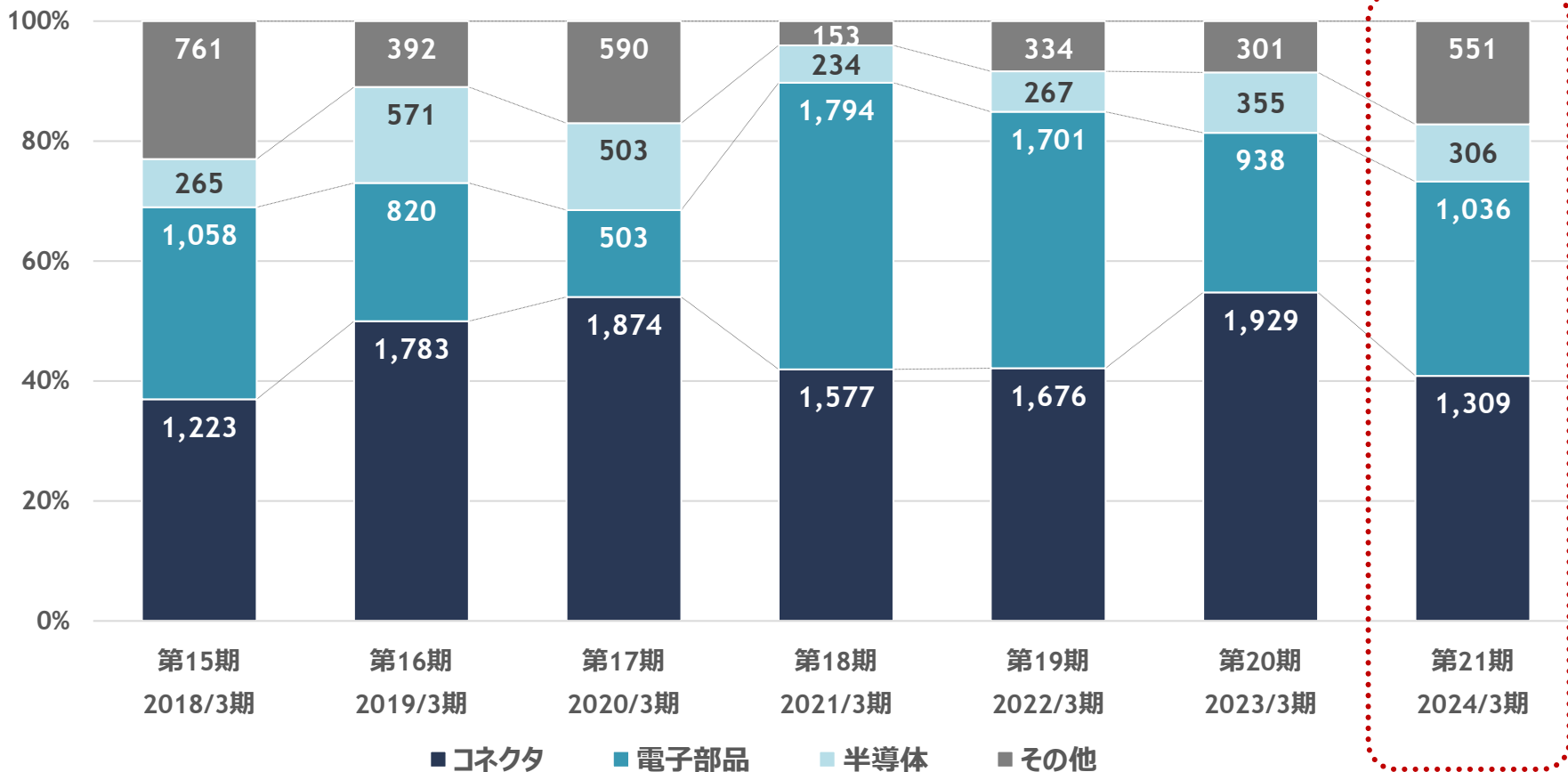
- 中国のスマホ生産調整、設備投資需要減速の影響で中国向けの売上が減少。
- タイは、既存顧客の在庫調整により売上減少。
- 日本は、車載関連は比較的堅調だったものの、全体的な需要が振るわなかったことが影響し、ほぼ横ばい。



検査用途別売上高構成推移(連結)

Point

- スマホ向けコネクタ検査用設備が大きく減少したことによりコネクタ検査比率が大幅に低下。車載向けは堅調に推移。
- 新電子部品分野の検査が急速に伸長し、電子部品比率が増加。
- 機械部品向けが伸長したことにより、「その他」の検査比率が増加。

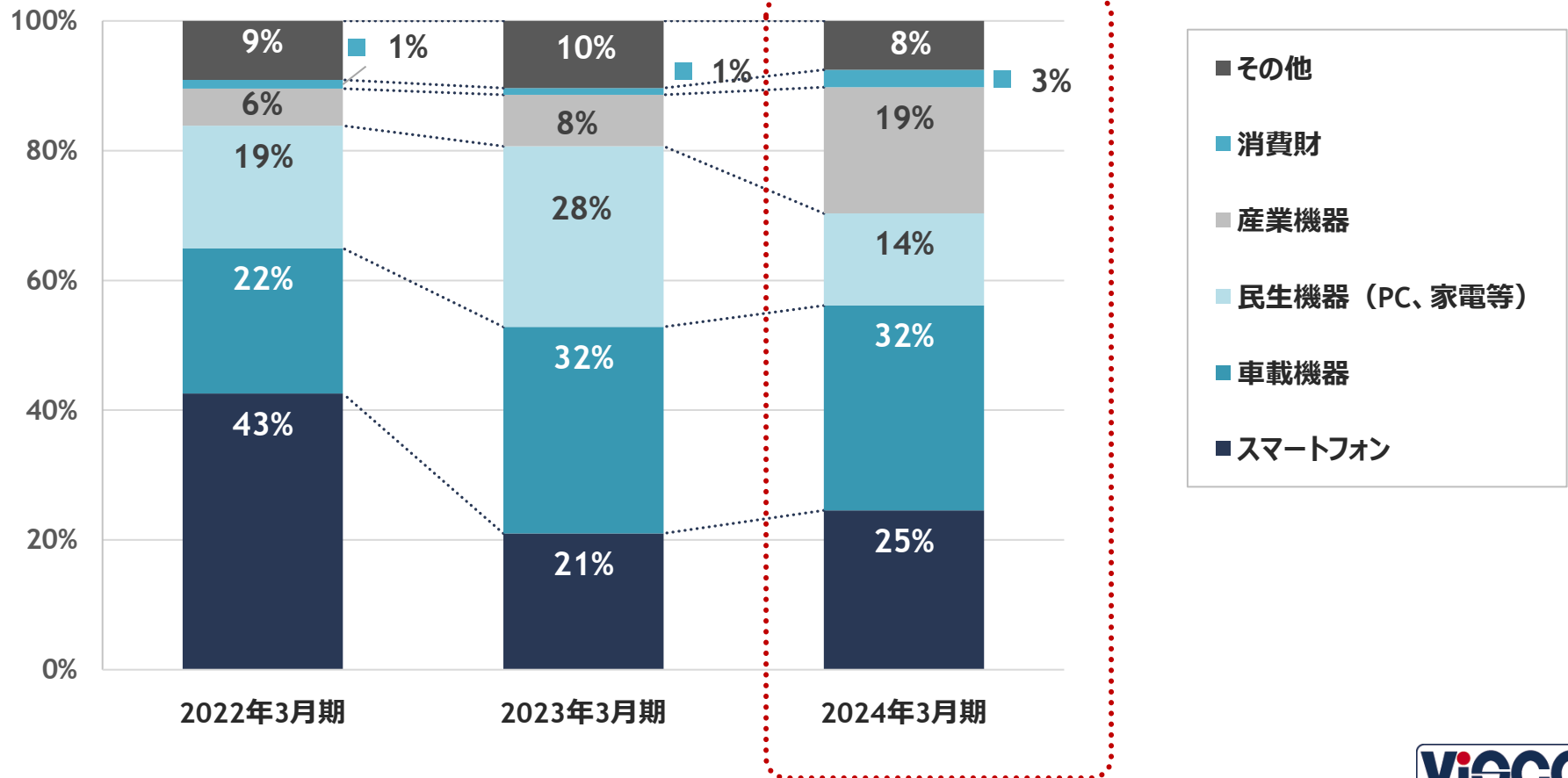


注) 従来「その他」の用途に含めていた内容を精査し、LED検査など、一部電子部品領域に近いものを2021年3月期より「電子部品」にて集計しております。

最終用途別売上高構成(連結)

Point

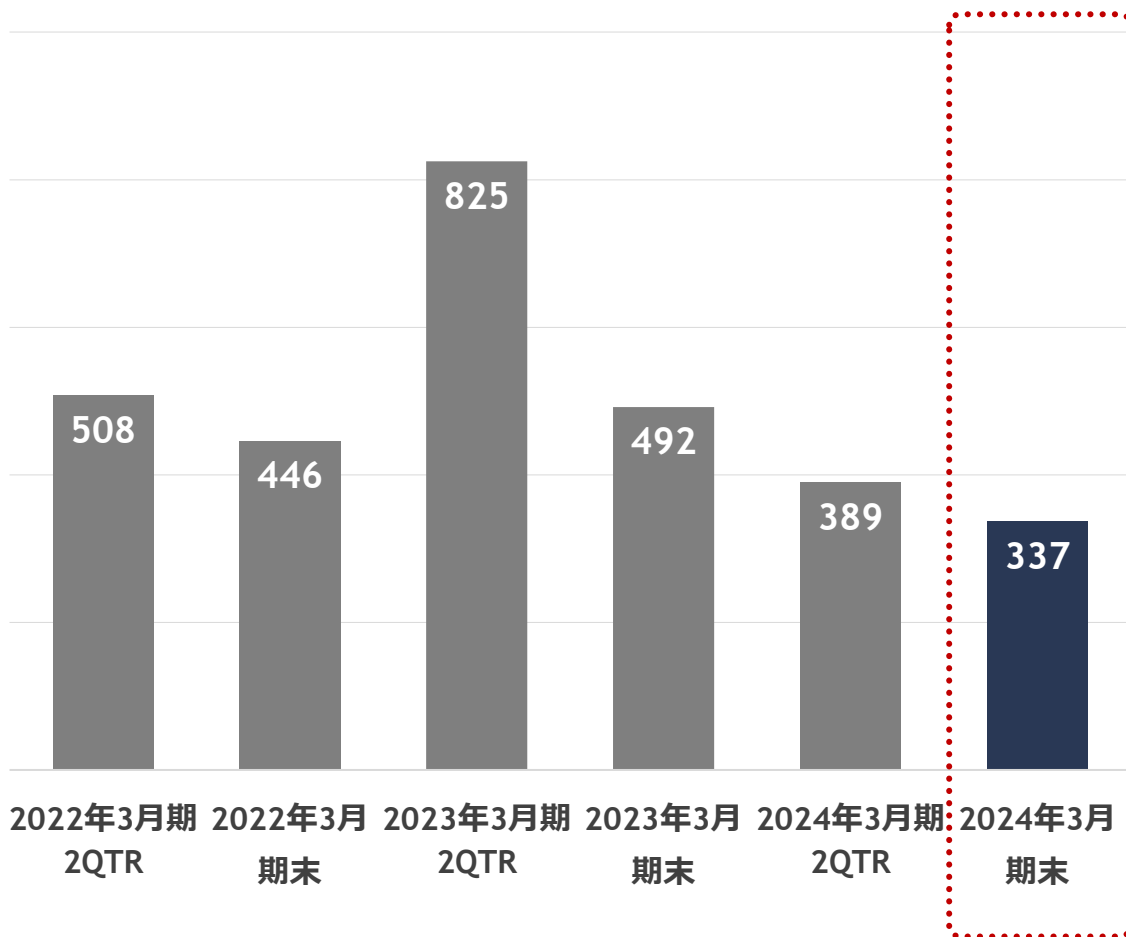
- スマホ向けは、スマホ市場の縮小、在庫調整の影響を受けたが、下半期には出荷台数が増加したことから微増。
- 産業機械向けは、得意先の在庫調整が一巡したことに伴い、増加。
- 民生機器向け（特にサーバー用途）は、在庫調整の影響を大きく受けたことにより構成比が低下。



2024年 3月末現在 受注の状況

受注残高の推移

(単位：百万円)



▼受注残高

(単位：百万円)

2023年 3月期	2024年 3月期	前期末 比較
492	337	▲154 68.5%

▼受注金額

(単位：百万円)

2023年 3月期	2024年 3月期	前期末 比較
3,651	3,040	▲611 83.3%

2024年 3月期 連結貸借対照表

▼ 資産の部

単位：百万円	2023年 3月期末	2024年 3月期	前期末 比較
流動資産	4,192	4,250	+58
現金及び預金	2,466	2,673	+207
売上債権	1,068	959	▲109
棚卸資産	559	550	▲9
その他	96	66	▲29
固定資産	437	286	▲150
有形固定資産	140	45	▲94
無形固定資産	189	142	▲46
その他	107	98	▲9
資産合計	4,629	4,537	▲91

▼ 負債・純資産の部

単位：百万円	2023年 3月期末	2024年 3月期	前期末 比較
流動負債	963	921	▲41
仕入債務	170	264	+93
短期借入金 (※)	451	333	▲118
その他	341	323	▲17
固定負債	82	314	+232
負債合計	1,045	1,235	+190
株主資本	3,250	2,943	▲307
その他	332	358	+25
純資産合計	3,583	3,301	▲281
負債・純資産合計	4,629	4,537	▲91

※ 短期借入金と1年以内返済予定長期借入金の合算額を記載しています。

(単位：百万円)

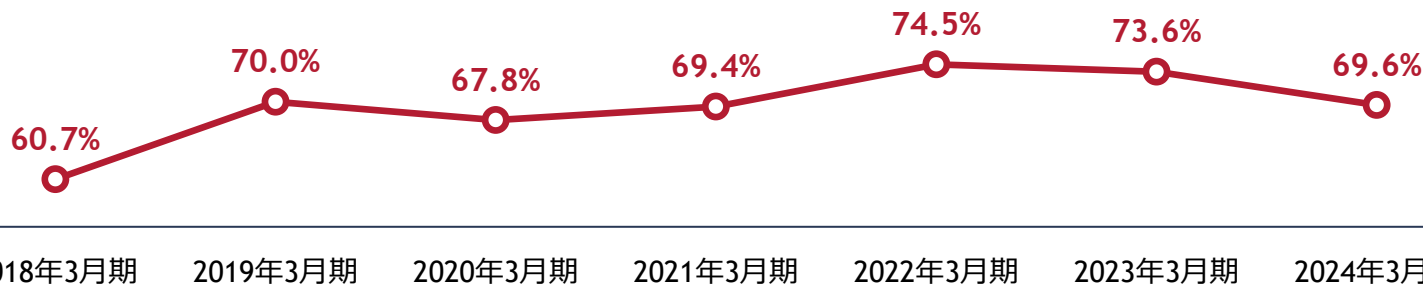
2024年 3月期 連結キャッシュフロー

▼ キャッシュフロー

	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比較
営業キャッシュフロー	400	392	▲7
投資キャッシュフロー	▲130	▲115	+15
フリーキャッシュフロー	269	277	+7
財務キャッシュフロー	▲133	▲139	▲6
現金・現金同等物の増減額	+206	+204	▲2
現金・現金同等物の期首残高	2,195	2,401	+206
現金・現金同等物の期末残高	2,401	2,606	+204

(単位：百万円)

▼ 自己資本比率 推移



価値創造のための開発投資

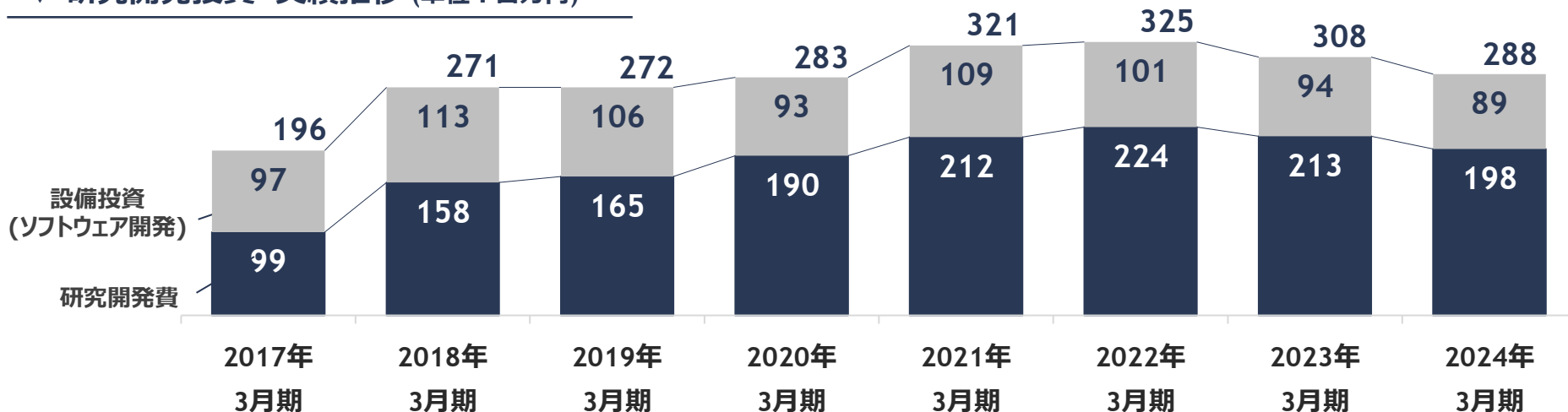
- AIコロボ推進の強化に向けて、当社VTV-9000シリーズのソフトウェア機能強化。
- IR（近赤外）超深度カメラ開発により、傷・クラック検査等の従来手法では検出できなかった欠陥を検出可能とした。

Point

2024年 3月期

(単位：百万円)	当期計画	通期実績	計画対比
設備投資 (ソフトウェア開発)	112	89	79.7%
研究開発費	206	198	96.1%
合計	319	288	90.3%

▼ 研究開発投資 実績推移 (単位：百万円)



外観検査AI (ViSCO/Adacotech/Hacarus) × ヴィスコ・テクノロジーズ VTV-9000 AI画像処理とルールベース画像処理の強みを生かした画像処理検査構築

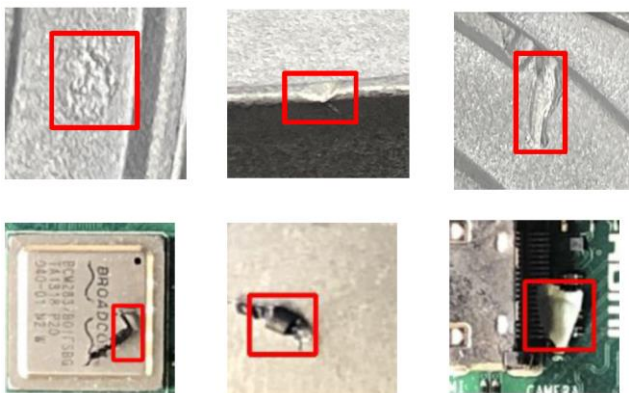


ViSCO/Adacotech/Hacarus
AI Technology



AIコラボレーションによる外観検査AI

ルールベース画像処理



一例として、金属ワークの傷・異物等、従来方式では、検出困難であった欠陥の抽出可能

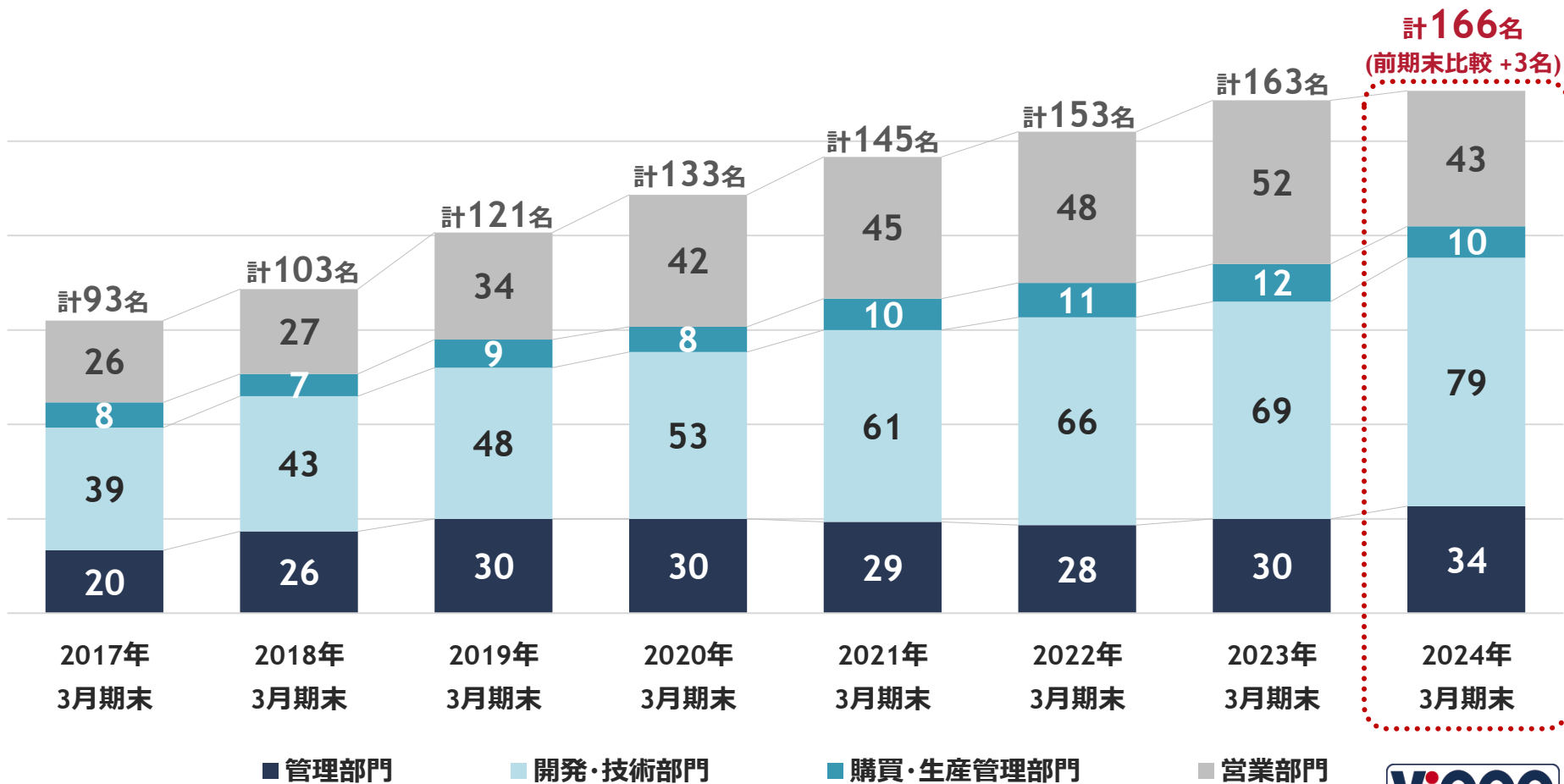
- ルールベースとAIの両方の判定が『OK』のときのみ『OK判定』
- どちらかが『NG』又は両方が『NG』判定の時は『NG判定』

- ◆ VTV-9000とAIの技術とを組み合わせることによりこれまで対応の難しかった外観不良、金属表面の外観検査などへの適用が可能となり、検査シーンが大幅に拡大
- ◆ 判定ロジックがブラックボックス化されていないため、問題点の解決が可能に
- ◆ ユーザーの知識や経験の違いに関わらず、検査自動化未経験のユーザーが導入しやすい

部門別人員推移(連結)

Point

- 次世代画像検査技術、研究開発人材の拡充。
- グローバル人材の育成強化を継続。
- 営業人材（特に海外）の採用・育成が課題。翌期以降、課題解消に向けて注力。



1. 2024年 3月期 決算概要

2. 2025年 3月期 業績予想

2025年 3月期 業績予想(連結)

- 民生機器需要回復、産業機械市場の在庫調整の一服により案件活発化。
- 中国におけるスマホ向け関連売上が回復、顧客の設備投資が拡大する見通し。
- マレーシア・ベトナム拠点での顧客開拓が進展。
- 他社との複数のコラボレーションが進行。販路の拡大にも期待。

Point

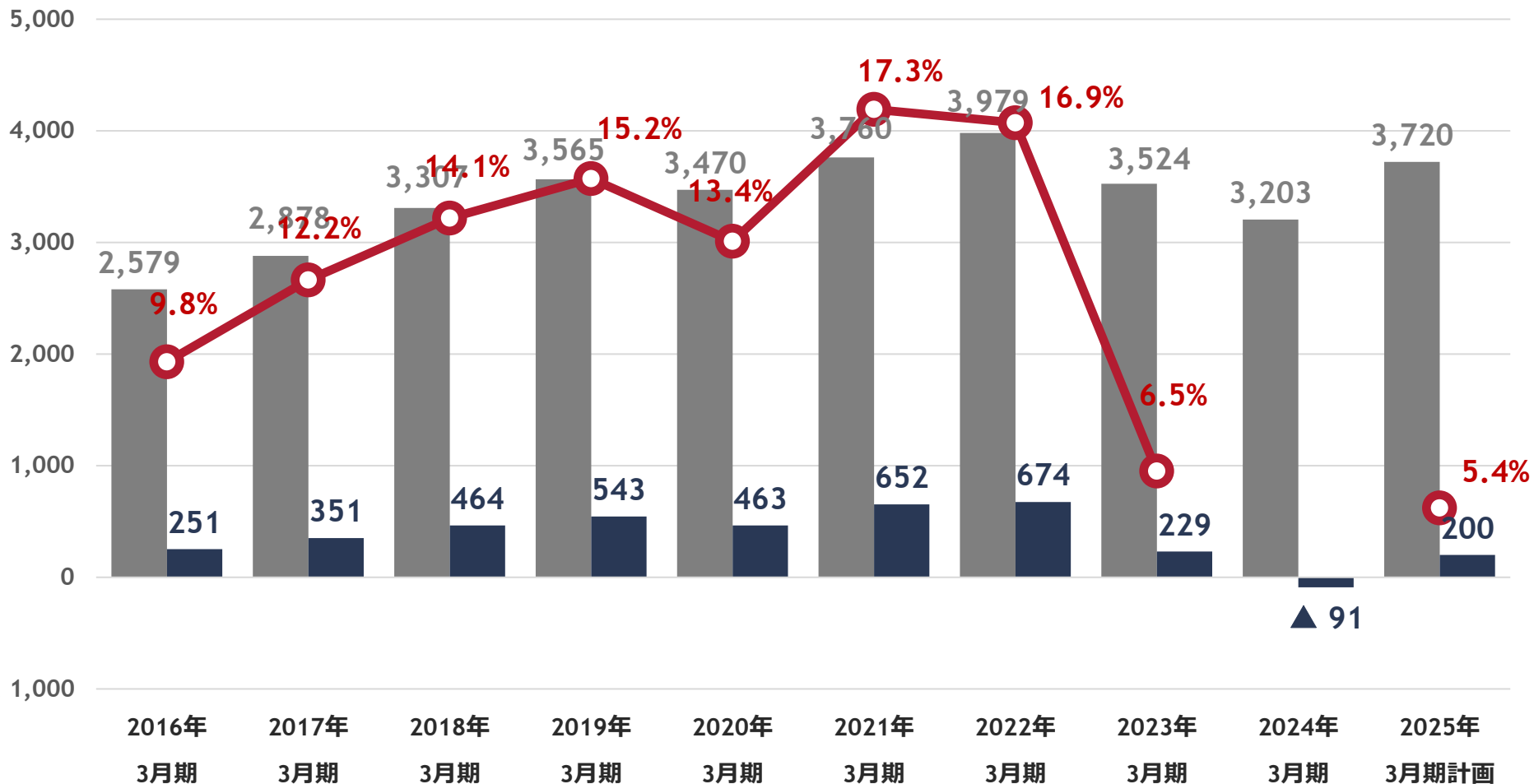
(単位：百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 業績予想	前年度比較
売上高	3,203	3,720	+516 116.1%
営業利益	▲91	200	+291 -%
経常利益	▲4	200	+204 -%
親会社株主に帰属する当期純利益	▲168	160	+328 -%
一株当たり当期純利益 (単位：円) (注)	▲28.05	26.62	+54.67 -

連結売上高・損益 推移

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率

(単位：百万円)

(単位：%)



中期経営計画について

当社は、2022年5月10日に「中期経営計画 2024」を公表いたしました。最近の業績動向等を踏まえ、次の通り2025年3月期を最終年度とする中期経営計画の経営数値目標について、下記の通り修正いたします。

	2025年3月期 経営数値目標	
	2022年5月10日公表	今回修正
売上高	5,350百万円	3,720百万円
営業利益	900百万円	200百万円
営業利益率	16.8%	5.4%
自己資本比率	72.8%	70.7%
ROE	15.0%	5.0%

<見直しの背景>

当社は、当社グループの将来ビジョンとして「世界中の製造現場にViSCOの技術を！」を掲げ、2023年3月期から2025年3月期までの3年間を対象とする中期経営計画を策定し、その達成に向けて諸施策を実行してまいりました。

しかしながら、COVID-19による行動制限や米中貿易摩擦、電子部品不足と高騰による当社顧客の設備投資停滞などを背景に厳しい経営環境が継続している状況を踏まえ、中期経営計画の最終年度である2025年3月期の数値目標の見直しを行うこととしました。

当初数値目標の達成が厳しいものとなりましたが、車載向け需要の拡大やスマホ向け需要の緩やかな回復を見込んでおりますため、引き続き受注獲得に向け注力してまいります。

Appendix

会社概要

画像処理検査といえば “ **ViSCO** ”

画像処理技術を広めることにより
豊かな社会づくりに貢献する

画像一筋

“究極の画像処理システム”
を追及する

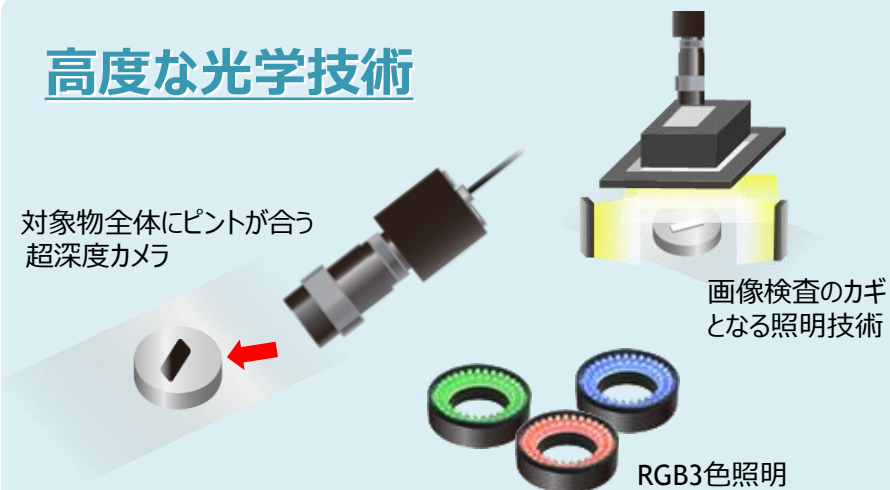
顧客満足度の高い画像ビジネスの
トータル・ソリューションを創造し、
画像処理システムクリエイターとなる

私たちは、画像処理検査に関するエキスパート集団です。
画像技術 (**Vision**) 一筋に、
さまざまな業種のお客様や技術・機器と協調 (**Collaborate**) して、
新しい価値を創造する、おもしろいことが大すきな技術者集団 (**Technologies**) であることから
社名を **ViSCO Technologies** としました。

当社は、お客様に画像処理検査装置の販売からアフターフォローにいたるまで、幅広い外観検査技術ソリューションを提供いたします。

高度な光学技術

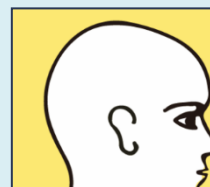
対象物全体にピントが合う
超深度カメラ



検査ニーズに応える 独自の画像処理アルゴリズム



知覚判断

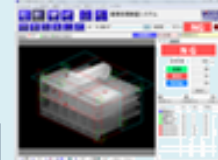


経験判断



認識

画像処理ソフトウェア



サンプル評価
評価レポートの作成



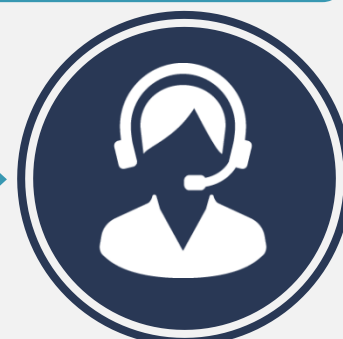
周辺機器の選定
システム提案



導入サポート
技術支援



トレーニングプログラム



アフターフォロー

VTV-9000 シリーズ

VTV-9000シリーズは当社が独自に開発したソフトウェア **VisionManager** と、ハードウェアを一体化した筐体型画像処理検査装置で、60を超える高性能な外観検査アプリケーションを搭載しています。

タイムタクト削減を実現する 高速ハードウェア

高精度な画像処理検査を実現する高速CPUを搭載。高解像度カメラを接続しても余裕の処理能力に加え、大容量ストレージを内蔵しているので、転送速度を気にすることなく検査画像の保存が可能に。

お客様の多様なニーズに応えるべく、処理速度・性能ともに優れたスタンダードモデルを中心に、コストパフォーマンスに優れたベーシックモデルからすべての機能を最大限に活用できるハイエンドモデルまで、ラインナップが豊富です。



ハイエンドモデル VTV-9000ST



VT Digital カメラ

画像転送速度が超高速なカメラから、超高画素カメラまで、検査に最適なカメラを選べるよう類を見ないほどの豊富なラインナップを取り揃えています。

照明コントローラ

画像取り込みのタイミングに合わせたLED照明の点灯・消灯・調光の制御が可能に。

LED照明の接続数に応じて機種を選択できます。

LED照明

画像処理検査の成功のカギとなる照明機器、当社では、当社エンジニアが豊富なラインナップの中から、検査に最適な画像を取得できる照明を選定し、提案します。

一般的な照明
での検査画像



明るさが足りず検査
が困難

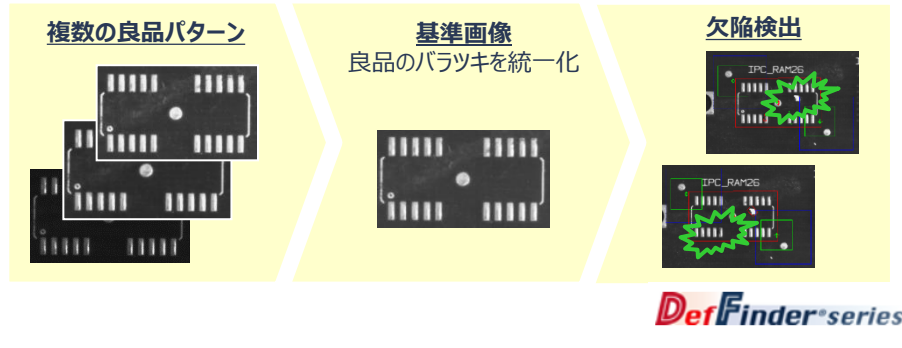
当社オリジナル
高輝度LED照明
での検査画像



最適な画像で検査が
可能

DefFinder®

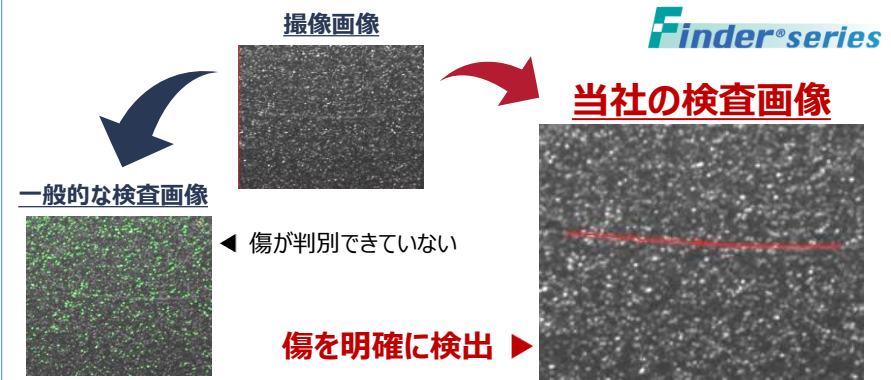
良品のパラツキを考えて欠陥だけを検出できるアプリケーション。複数の良品モデルを登録し、基準となる画像を認識することで、傷・汚れ・異物などの欠陥を検出する外観検査ソフトウェア。



CrackFinder®

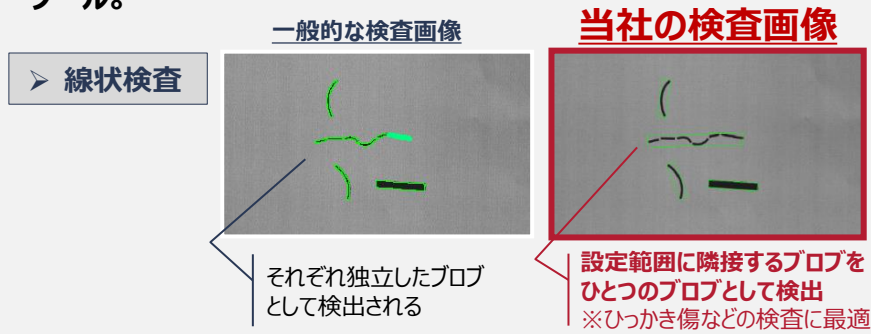
傷の判別が難しい素材でも、画像背景と傷を区別し、高精度な検出が可能なアプリケーション。

* CrackFinder®は、当社が開発した特許技術が活用されています。

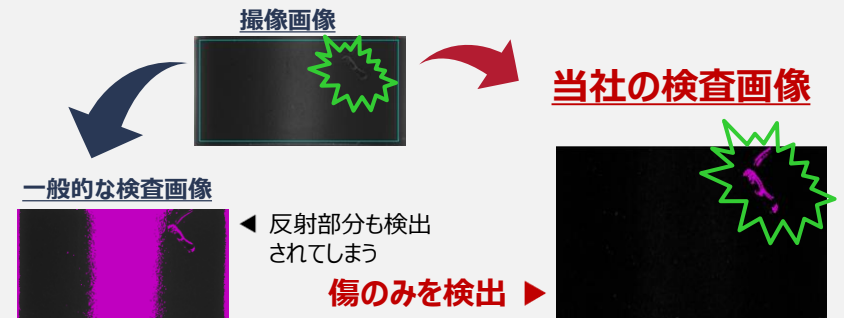


傷・異物検査

ブロブ (Blob=塊) の有無、数、面積、位置などを検出するツール。



照明条件により影ができ画像検査が困難な円筒形の検査対象でも、照明反射なく傷のみを検出することが可能なツール。





公益社団法人精密工学会 画像応用技術専門委員会 主催 外観検査アルゴリズムコンテスト 受賞歴

2008年 特別賞 受賞

2009年 最優秀賞 受賞

2010年 優秀賞、ロジスティクス賞 受賞

2012年 優秀賞、ロジスティクス賞 受賞

2013年 優秀賞、特別賞 受賞

2014年 優秀賞、特別賞 受賞

2016年 優秀賞、レゾナンスバイオ賞 受賞

2017年 最優秀賞、レゾナンスバイオ賞 受賞

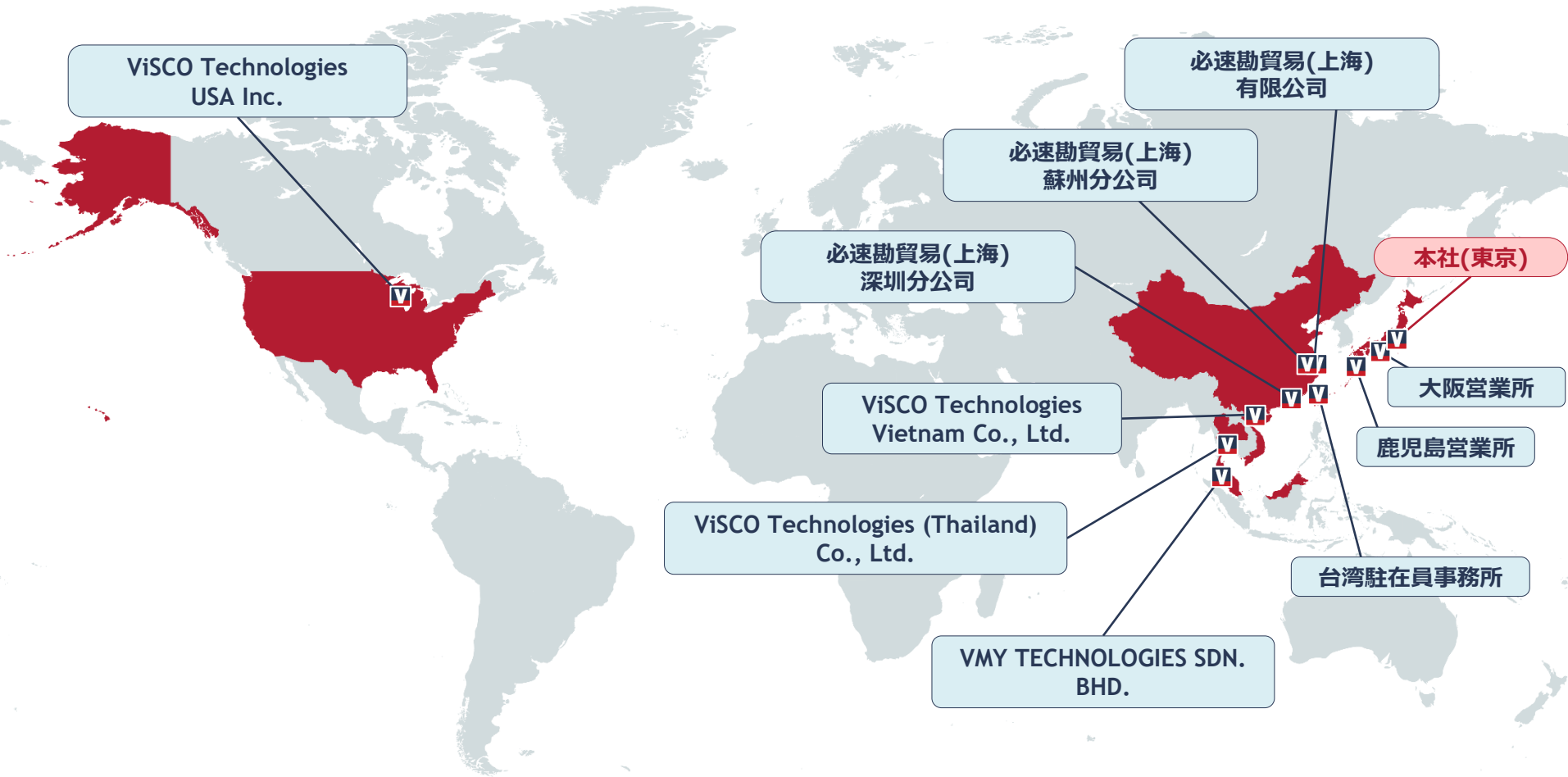
2018年 最優秀賞、レゾナンスバイオ大賞 受賞

2020年 優秀賞、理研ボクセル賞 受賞

2021年 最優秀賞、理研ボクセル大賞 受賞

外観検査アルゴリズムコンテストは、画像を用いた外観検査技術発展を目的に、主催：画像応用技術専門委員会、共催：国立研究開発法人理化学研究所 画像情報処理研究チームにより、毎年開催されております。







持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択されました2030年までの世界共通の国際目標です。SDGsでは、「誰一人取り残さない（No one will be left behind）」という基本理念のもと、SDGsが掲げる17の目標は、官民、営利、非営利、組織、個人の区別なく、持続可能な世界を目指し、皆で協力して取り組むことが求められています。

サステナビリティ基本方針

ヴィスコ・テクノロジーズグループは

あらゆるステークホルダーの期待を受け止め

企業理念に掲げる「画像一筋」に従い

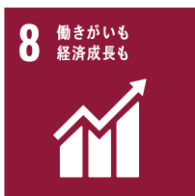
事業活動を通じて

持続可能な社会の実現と

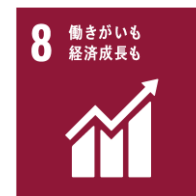
企業価値の向上を目指します

サステナビリティ重点課題

事業活動による取り組み



事業活動を支える取り組み



当社グループは、当社製品・サービスをご提供することで、産業革新の促進、工場等の生産性や効率性の向上、働く人々の安心安全な労働環境確保を追求し続けてまいります。
また、活発で多様性のある組織づくりを目指し、従業員の「幸せ」を追求するのと同時に、平和で公正な社会の実現に向けて事業活動を続けてまいります。

私たちは、画像一筋です。

2003年 8月



ViSCO Technologies 株式会社 設立

2008年 3月

筐体型画像処理検査装置VTV-9000 シリーズ発売

2010年 3月



必速勘貿易(上海)有限公司 設立

2012年 2月



ViSCO Technologies (Thailand)Co., Ltd. 設立

2014年 3月



ViSCO Technologies USA, Inc. 設立

2017年 12月

東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 市場 株式上場

2018年 12月

東京証券取引所 市場第二部 上場市場変更

2019年 10月



VMY TECHNOLOGIES SDN. BHD. 設立

2022年 4月

東京証券取引所 スタンダード市場へ移行

2023年 1月



ViSCO TECHNOLOGIES Vietnam Co., Ltd. 設立



会社名	ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社
代表取締役社長	足立 秀之
本社所在地	東京都港区海岸1丁目11番1号ニューピア竹芝ノースタワー
設立	2003年8月
資本金	494百万円（2024年 3月末現在）
国内事業拠点	大阪、鹿児島
海外事業拠点	中国（上海、深圳、蘇州）、タイ（バンコク）、米国（イリノイ州）、マレーシア（ペナン州）、ベトナム（ハノイ）、台湾（台北）
従業員数	166名（2024年 3月末現在）
事業内容	画像処理検査装置の開発、製造、販売
証券コード	東京証券取引所スタンダード市場（6698）

IR に関するお問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、
管理本部 IR担当までお願い申し上げます。

Tel : 03-6402-4500

Mail : info-ir@visco-tech.com

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

私たちは、画像一筋です。